

第2学年1組 英語科学習指導案

日 時 平成26年10月22日 第5校時

場 所 多目的3・4教室

授業者 JTE 新井 洋介

ALT Joseph Michel Blackman

1 教 材

教科書 NEW CROWN English Series 2 (三省堂)

単 元 We're talking 6 電話をしよう

2 単元について

(1) 単元観

本単元では、相手が見えない電話会話において自分の考えや用件を相手に伝えることを目指している。題材は、電話による連絡である。久美がラージの家に電話したところラージが外出中で、ラージの父親に伝言をお願いする状況である。

学習内容は、Will you ～, please?を使って相手に伝言を依頼することが中心であるが、既習事項を使って電話での会話をすすめたい。話したい相手が直接電話に出た場合、話したい相手と代わってもらう場合、話したい相手が不在の場合などさまざまな状況での会話活動を展開していく。電話会話の相手が見えない状況で、ジェスチャーなど非言語コミュニケーション技能が使えない状況での会話がいかに難しいかを経験させたい。

この活動を通して1年半で学んだ語彙、表現方法、言語材料などについての定着を図る。また、電話での表現を用いながら、自分の考えや用件をわかりやすく伝えることをもとにコミュニケーションの基礎を養う。

(2) 生徒観

2年1組の生徒は、男子17名、女子15名、計32名である。学習に意欲的な生徒が多く、活発に活動を行うことができる。英語の授業では、「読むこと」や「話すこと」などに集中して取り組むことができる。

今回、英語に関する意識調査を本学級生徒対象に行った。結果、上位項目は以下のとおりである。

○英語の学習に関するアンケート調査より（複数回答可）

〈英語の授業における活動で得意なこととは何ですか〉（調査人数32人）

グラフ ～省略～

英単語を覚える、音読・朗読する、読んで理解するなど、コミュニケーションを伴わない活動を得意だと感じている傾向がある。

〈英語の授業における活動で苦手なことは何ですか〉（調査人数32人）

グラフ ～省略～

口頭で発表したり、書いて発表したりするなど、自己を表現する活動に苦手意識を持っている生徒が多い。英文を暗記したり、先生や友達とコミュニケーションをとることを苦手と感じている生徒も比較的多い。

〈将来身につけたい能力は何ですか〉（調査人数32人）

グラフ ～省略～

会話能力や聞いて理解する能力、文章を書く能力など、コミュニケーション能力を身に着けたいと考えている生徒が多い。

この調査から、本学級の生徒たちは、英語で話したり、聞いたり、文章を書いたりしてコミュニケーションが取れるようになりたいと考えている割合が高いことがわかった。しかしその反面、多くの生徒が口頭で発表したり、書いて発表したりといった表現活動を苦手と考えている。

本単元では、生徒たちの得意な音読・朗読する活動を発展させながら、話すことにより自分の考えを発表したり、コミュニケーションをとったりする活動を増やす。

（3）指導観 研修主題『言語活動の充実』

本学級の生徒は、挙手、発言が苦手な生徒が多く、授業中に指名されても大きな声で発表することができる生徒は少ない。コミュニケーション能力の向上を図るために、会話活動や話し合い活動、発表活動に意図的に取り組ませることで、自信を持って自己表現できる生徒を育成していきたい。

2年生の中盤を迎え、現在、過去、未来の時制を理解し、英語である程度自分の考えを相手に伝えることが可能な時期である。これまでに学習してきた知識を活用することで、自分の意見や感想を英語で伝えられることを実感させ、コミュニケーションを図ることの楽しさや難しさ、大切さを認識させたい。

本単元において生徒は、1年時に学習した電話での会話をもとに、新たに学習した表現を使って会話活動を発展させたい。1年時には話したい相手が直接電話に出た場合の会話活動を学習したが、話したい相手と代わってもら場合や話したい相手が不在の場合などさまざまな状況において相手に用件をしっかりと伝えられる経験や人の説明を聞いて理解する経験をさせ、コミュニケーションへの関心・意欲を高めていきたい。

また、さらなる学習のために、電話会話を発表する活動の後に、その会話に対する感想を発表する機会を設ける。会話活動を一方的な発表で終わらせるのではなく、コミュニケーションを図るきっかけにしたい。

4技能を統合的に活用させ、「話すこと」だけではなく、発表内容を的確に聞き取り、それに対して自分の考えや感想を伝え合う楽しさを味わわせる授業を作っていきたい。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 目標

- ① 依頼するときの表現、その承諾や不承諾の表現を使って、伝言や連絡を聞き手に正しく伝わるように話すことができる。
- ② 電話特有の表現を理解し、聞き手に自分の考えや意見を正しく伝え、電話で状況に応じた会話をすることができる。
- ③ 知っている語句や表現をうまく利用して、自分の考えや感想を話している。

(2) 本単元の評価規準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
① (言語活動への取組) 間違えることを恐れず、積極的に電話での会話に取り組んでいる。	① (正確な発話) 語句や表現、文法事項などの知識を活用して英語を正しく話すことができる。		① (言語についての知識) Will you ～, please?を使って、相手に何かを依頼するときの表現の知識を身に付けている。
② (コミュニケーションの継続) 知っている語句や表現をうまく利用して、自分の考えや感想を話している。	② (適切な発話) 聞き手に自分の考えや意見を正しく伝え、電話で状況に応じた会話をすることができる。		

4 指導計画 (全4時間 本時3 / 4)

指導内容	配当時間	単元の評価規準
○依頼するとき、承諾するとき、あやまるときの表現の構造を理解する。 ・ Will you ～, please?を使って依頼し、それについての応答をする。 ・ 自分の考えや感想を英語で話す。	1 時間	アー① イー① エー①
○電話での会話を継続する。 ・ 既習の表現を使い、電話で状況に応じた会話をする。 ・ 既習の表現を使い、さまざまな状況での電話会話を考え、発表する。 ・ 電話での会話を聞いて、自分の考えや感想を英語で述べる。	3 時間 【本時2 / 3】	アー② イー②

5 本時の展開

○本時の目標

- ・ 電話で相手や状況に応じて自分の伝えたい内容を話すことができる。【外国語表現の能力】 イー②
- ・ 電話での会話を聞いて、自分の考えや感想を英語で話している。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 アー②

過程	学習活動《形態》	学習内容	・指導上の留意点 ◎総括的評価へ ○形成的評価
導入 10分	1 あいさつ《一斉》	・ Hello. ・ How are you? ・ How is the weather today? ・ What's the date today? ・ What day is it?	・ 英語を使って授業する意識付けをする。
	2 本時の目標を確認する。《一斉》	・ 電話会話スキット発表 ・ 感想を英語で表現する	・ 本時の目標をはじめに伝え、授業のねらいを全員がわかるようにする。

	3 電話会話で使う表現をペアで応答する。1 分間でできるだけ多く答える。《ペア》 4 前活動に続けて、1 分間電話会話活動をグループ内ペアで交替して行う。《グループ・ペア》 5 グループで 1 分間電話会話活動を振り返り、意見交換や教え合いをする。《グループ》 6 1 分間電話会話を発表する。	ワークシート② A : Hello. B : Hello. This is <u>Tom</u>. A : This is <u>Ken</u>. Can I speak to <u>Aya</u>, please? B : Speaking. A : This is <u>Ken</u>. Is <u>Aya</u> in? B : I'm sorry. She's not home yet. A : Will you give <u>Taro</u> a message, please? B : Of course. など ワークシート③ (例) A : <u>Hello</u>. B : <u>Hello. This is Yuki. Is Tomoko</u> in? A : I'm sorry. She's out now. B : What time will she get home? A : She may get home at seven. B : OK, I'll call her later, but I'm going to Chichibu tonight. A : Can I take your message? B : Thank you. You're kind. A : You're welcome. What is it? B : There's no club activity tomorrow. A : I see. I'll tell her. B : Good bye, <u>Mr Tanaka</u>. A : Good bye, <u>Yuki</u>.	・ペアで向かい合い、活動する。ペアがいないところは、ALT が組む。 ・応答する側はワークシートを見ない。 ・繰り返して行うことにより、本単元で学ぶ言語材料の定着を図る。 ・座席を移動し、3 人のグループで机を合わせる。グループで人数が足りないところは、ALT が入る。 ・既習表現の中から、自分で表現可能なものを選択して会話活動を続けるよう指導する。 ・会話が続かない場合は、交替させ、友達の会話を聞かせて参考にさせる。 ・振り返り活動を行うことによって、次の活動がより充実したものになるようにする。 ・一番長い会話を考えられたグループに発表をさせ、学習の成果を認めることで、生徒の学習意欲を高める。
展開 35 分	7 JTE と ALT による電話会話を聞き、感想を述べる。《一斉》	JTE : Hello. ALT : Hello. This is Joe. JTE : Hi, Joe. What's up? ALT : I'm sick today. I have a fever. JTE : That's too bad. Did you go to the hospital? ALT : No, I didn't. I keep sleeping all the day. Change with Mr Hasegawa, please. JTE : Sorry, Mr Hasegawa isn't yet. ALT : OK. Will you tell him that I'm absent today, please? JTE : Of course. Take care. ALT : Thank you. Good bye. JTE : Good bye.	・スキットのモデルを聞くことにより、これから考える電話会話をイメージする。 ・生徒の反応を見て、必要があれば JTE が補足説明をして、理解を助ける。 ・前時の活動で使用したワークシート①を参考にして、生徒の感想を促す。

			予想される生徒の反応 That's too bad. Take care, Joe. Joe is sick. Joe is poor. Joe doesn't come to school today. Joe played games last night. Joe should go to the hospital. Why does Joe become sick? Will Joe come to school tomorrow? Did Joe eat anything? など
8	電話会話スキットを作成する。《グループ》	(例) C : This is Miho. This is her mother. At nine in the evening. Miho dropped her cell phone. She went to the police and she calls her mother. I'm the police officer.	・グループでさまざまな状況を設定させスキットを考え、ワークシート④に記入する。 ・ALT にスキットをチェックしてもらう。 ・スキットの練習を自然な電話会話になるように練習させる。
9	電話会話スキットを練習する。《グループ》	A : Hello. B : Hello. You are Miho, aren't you? A : Yes. This is Miho. B : What are you doing? What time is it now? A : Sorry. But I am in trouble. B : What happens? A : I got lost my way. B : Where are you now? A : At the police box. C : Hello, this is the Minano police. Is it Miho's mother? B : Yes. What should I do? C : Please come to the police soon. B : OK. I'll go there soon. A : Thank you, mom. Good bye. B : Don't move. Good bye.	・グループで作成したスキットを発表する。
10	電話会話スキットを発表する。《グループ》		【評価場面 1】 ◎聞き手に自分の考えや意見を正しく伝え、電話で状況に応じた会話をするができる。【イー②】(活動の観察) A : スキットを見ずに、電話で自然な会話ができる。 B : スキットを見て、電話で会話ができている。 努力を要する生徒への手立て : スキットの下稿を見ながら、電話で会話ができるよう練習させる。
11	他のグループの発表を聞いて、ワークシートにメモをとる。《一斉》	C : Then, Miho's mother comes to meet her at the police. Thank you.	・発表中にメモを取りながら聞くように指示する。 ・10グループのうち、時間に応じて数グループに発表させる。(残りのグループは次時に発表させる。)

	12 感想を話し合い、発表する。《グループ、一斉》	予想される生徒の反応 Good idea. Oh, no! I can see why. Miho is poor. Really? I don't believe in. I think Miho's idea is good. Her mother is very busy. I don't get lost may way. など	・積極的な活動にするため、各グループで話し合う時間を設け、発表する。 【評価場面 2】 ○知っている語句や表現をうまく利用して、自分の考えを話している。【アー②】(活動の観察) A: 積極的に自分の感想や意見を英語で表現している。 B: 感想や意見を英語で表現している。 努力を要する生徒への手立て： 既習の表現から、短い感想でもよいので感想を英語で表現させる。 ・ALT の意見や感想を入れることにより、発言を活発にする。 ・必要があれば、JTE の解説や補助的な発言をする。
まとめ 5 分	13 本時の感想・学習の記録をワークシート④に記入し、発表する。《一斉》 14 ALT の感想を聞く。《一斉》 15 あいさつ 《一斉》	・ Good bye. ・ See you. ・ Have a good day.	・ 電話会話の発表を経験して感じたことや友達の発表を聞いて思ったことから、コミュニケーションの楽しさや大切さに気付かせる。 ・ 次時に発表するグループに、より良い発表をする意識を持たせる。 ・ 時間があれば、以前のサンプルを紹介する。

本日の目標

電話会話スキット発表

感想・意見を英語で表現する

JTE : Hello.

ALT : Hello. This is Joe.

JTE : Hi, Joe. What's up?

ALT : I'm sick today. I have a fever.

JTE : That's too bad. Did you go to the hospital?

ALT : No, I didn't. I keep sleeping all the day.

Change with Mr Hasegawa, please.

JTE : Sorry, Mr Hasegawa isn't yet.

ALT : OK. Will you tell him that I'm absent today, please?

JTE : Of course. Take care.

ALT : Thank you. Good bye.

JTE : Good bye.

That's too bad.

Take care, Joe.

Joe is sick.

Joe is poor.

Joe doesn't come to school today.

Joe played games last night.

Joe should go to the hospital.

Why does Joe become sick?

Will Joe come to school tomorrow?

Did Joe eat anything?